



問 県実テ。今後の対応策は

答 専門的な支援をしていく

川上

本年度の学力定着状況調査の結果を受け、今後の対応方法について伺う。

教育長

学習支援員、特別教育支援員、ALTの増員を図りながら専門的な支援を行う。また放課後学習や加力学習を行う。

問 協力隊任期満了の評価は

答 全員定住 良い結果に

川上

地域おこし協力隊の3年間の委嘱期間がこの3月で終了する。これまでの検証・評価について伺う。

町長

地域活性化活動と定住を目的に募集。今後定住することは良い結果に繋がったが、町全体への認知度という面では十分でなかった。次期の協力隊のあり方については、しっかりと目標をもって行う。

問 次はどんな人

答 もう一度募集

川上

次期の隊員については、集落活性化分野・観光振興・農業関係に各1名を募集していたが内定状況は。

町長

集落活性化に4名、観光に2名、その両方に1名の合計7名の応募があった。農業関係に関してはゼロ。その中で1名に合格通知を出したが辞退された。もう一度募集をかけた。